

親バカトマト通信

2015

vol.43 2015年2月号
2015.2.17発行 編集:助川農園



現在の親バカトマト

現在の糖度 ★★★☆☆ 約5~6度
少しずつ糖度が上がってきました

立春が過ぎ、差し込む日差しが少しずつ強くなり、日が暮れるのものびてきましたが、時折山の向こうから、雪雲の切れ端が強い北風によってやってきて、まだまだ寒い日が多いです。

外気温が低いと、ビニールハウスの中を閉め切る時間が長くなります。

晴れた日中、密閉されたハウスの中でトマトの木が光合成を行うと、二酸化炭素の濃度が外気より低くなってしまおうそうです。

太陽の光と二酸化炭素、水分によって葉で光合成が行われ、酸素と糖分が作られます。

光合成を活発に行い、作られた糖分の量が多いほど、トマトの木の生育はもとより、果肉のしっかりとした美味しい実が出来ます。

親バカトマトの4kg箱のデザインが新しくなりました！



SHOP NEWS



今期の収穫開始直後は大きいトマト中心の収穫でしたが、3ヶ月がたち、小さいトマトの収穫量も増えてきたので、箱売りで一番小さなサイズの「2Sサイズ」のトマトの販売を再開しました。

朝どり新鮮完熟トマトを産地直送しております！

★ご注文は★ <http://shop.suketoma.com/>

そこで今回「CO₂（炭酸ガス）発生剤」の導入を試みることにしました。

人工的に二酸化炭素を供給することによって、光合成が活性化され、冬場弱りがちだったトマトの木が、少しでも元気になればと思っています。

CO₂発生剤

いわき野菜アンバサダーになりませんか？

いわき市の「見せますいわき情報局」では、いわき産農作物の魅力を積極的に発信していただける方を対象に野菜大使「いわき野菜アンバサダー」を募集しています。

いわき情報



詳しくはWebサイト

「見せます！いわき情報局」内「いわき野菜アンバサダー」のページをご覧ください。

http://misemasu-iwaki.jp/iwaki_ambassador/index.html

農園こぼれ話



先月1月13日、内堀福島県知事と、県内各地の女性農業者7名との懇談会、「あすのふくしま農業を語るつどい」があり、女性農業者の一人として参加してきました。

震災後、より経営を発展させている女性ならではの皆さんの話を聞くことができ、貴重な時間をいただけて光栄でした。

親バカトマトは放射能分析を定期的に検査し、安全性が確認されております。



農事組合法人
菊田の郷

助川農園

〒974-8232 福島県いわき市錦町荒谷72

農園Tel090-1407-2118 自宅Tel・FAX 0246-63-5315

URL <http://suketoma.com> mail shop@suketoma.com